

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に応じて話す事柄を順序立てて話す。</li> <li>互いの話を集中して聞く。</li> <li>身近な事柄を簡単に説明する文章などを書く。</li> <li>場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。</li> <li>平仮名や片仮名を読み書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」の観点で2文程度の文章を書きスピーチをする。</li> <li>学習中、対話を大切に友達の考えをしっかりと聞くようにする。</li> <li>休み時間や日曜日などの身近な話題を取り上げ、絵日記に書かせる。</li> <li>文章だけでなく挿絵からも登場人物の様子を考えさせていく。</li> <li>文章を書くだけでなく視写の機会を増やすことで、文字を読んだり書いたりすることに慣れさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を用いて、数の感覚を豊かにする。</li> <li>加法及び、減法の意味を理解し、用いることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで個数や順番を正しく数えたり表したりする。</li> <li>具体物から半具体物、立式という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがい」等の言葉の意味を実感させ加法や減法の計算方法を身に付けさせる。</li> </ul>
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察したことを絵や文章で詳しくまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察カードに書くことを「目で見てわかること」「手で触ってみてわかること」などと視点を明確に示し、文章に表すことができるようにしていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に着け、体力を養う。</li> <li>だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元にあった、補助運動を取り入れ、体の色々な部位をつかった動きを経験させる。</li> <li>それぞれの単元で段階的に課題を設定し、徐々に動きの習得ができるようにする。</li> <li>動きのイメージをしやすいような合言葉やルールなどを取り入れる。</li> <li>友達のよい動きを見つける機会をふやすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけあって活動できるよう良い動きや声掛けの例を示す。</li> <li>楽しんで活動しやすいように単元にあった場の設定をする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の気持ちになって、自分自身の考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる発問を設定し、登場人物の気持ちになって考えることができるようにする。</li> <li>意見がもてない児童に対しては、友達の発表から同じや似ている、違っているなど自分の考えを表現できるようにしていく。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が楽しく音楽にかかわり、音楽に興味・関心をもって生き生きと活動する態度や習慣を育てる。</li> <li>・友達の歌声や音を聴いて、拍にのったり、合わせて演奏しようとしたりする姿を育てる。</li> <li>・さまざまな音楽に親しみ、音楽を形づくっている要素のかかわり合いや楽曲の気分を感じ取って音楽を聴くことができる姿を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書以外の季節の歌、今月の歌など、児童が意欲をもって歌えるよう、教材選択を行う。また、常時活動を充実するようにし、簡単なリズム打ちやリレー、体を動かす活動やリズム唱など、児童が音楽に親しみながらフレーズ感やリズム感が育つように工夫をする。</li> <li>・自分の歌声や音だけでなく、友達の声や音を常に合わせることを意識できるようにする。また、常にきれいな声や音、曲の感じを考え表現を工夫できるようにしながら表現をする楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・音楽を聴く楽しさを十分味わえるように、楽曲の教材研究を十分に行うとともに、電子黒板を利用し耳だけでなく目でも確かめながら音楽を聴く活動を行うようにする。主な旋律を口ずさんだり、フレーズに合わせて体を動かしたりしながら、音楽を形づくっている要素に気づいて楽しく音楽を聴くことができるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、作り出す喜びを味わうようにする。</li> <li>・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。</li> <li>・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲をもつことができ、持続できるような内容を設定する。</li> <li>・技能面に関しては、図や実演などで示す。繰り返し取り組めるように設定する。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように気を付けて指導する。</li> <li>・自分の作品のよさに気づかせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見つけるような交流の場を設ける。</li> </ul>